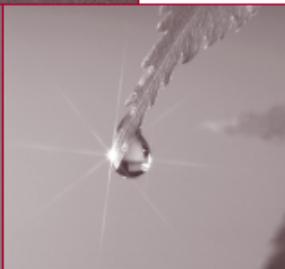


環境あきた

県民フォーラム通信

発行 環境あきた県民フォーラム事務局
〒010-8570 秋田県山王4-1-1 秋田県環境政策課内
TEL018-860-1602 FAX018-860-3881
envplan@pref.akita.jp

2002年
夏号



CONTENTS

挨拶・幹事紹介2	環境配慮商品紹介1	
会員紹介3	太陽光発電システム6
幹事会議事		環境配慮商品紹介2	
決定事項の報告		エコクリーン車検	
4	7
建設リサイクル法5	お知らせ8

はじめに

環境あきた県民フォーラム設立に寄せて

ごあいさつ

代表 山本 久博

環境という非常に幅の広いテーマについて、県民の視点で考え、為すべきことを決定し、みんなが手を携えて行動するような組織を作りたいと、昨年7月に県から提案されました。その際の呼びかけに応じた団体や企業、行政の人たちで、そうした組織の設立準備会議を設立し、これまで議論を重ねてまいりました。その結果、【1】当面のテーマを、ごみの減量化、省エネルギーの導入、健全な森づくりの推進、環境学習の推進という、今まさに地球的課題となっている地球温暖化防止につながる私たちに非常に身近なものである4つの項目とする。そして【2】広く会員を募り、知恵を出し合い、そしてそれぞれの立場を尊重しながら互いに連携し、全国に誇れる「豊かな環境あきた」の実現に向けて行動していく、ことを趣旨とした「環境あきた県民フォーラム」を設立することとなりました。この呼びかけに応じ、多くの方々が加入していただいたことに心から感謝を申し上げます。

このフォーラムは、皆さんから環境のことを知っていただくための情報の提供、皆さんから様々な課題やお考えなどを伺うための地域懇話会、そして県民の方々に広く環境のことを考えていただくためのイベントといった、基本的育組みの部分以外は、まだ何も決まっておらず、会員のお知恵で組み立てていく性格のものと考えております。その意味で、このフォーラムは皆さんが動かす組織です。皆さんからは、今後の集いなどに積極的に御参加いただき、みんなで手をつなぎ合えばこんなことまでできるのではないかと、豊かな環境づくりのための夢のあるアイデアをどんどん出していただきたいと考えております。

「環境と共に生きる秋田」の実現は、あきた2 総合計画に掲げる秋田県の重要なテーマであり、連携による取組には、行政からも最大限の御支援をいただけるものと思います。そんな中で、皆さんから出されたアイデアの実現に努め、全国に、そして将来のことも連想し自慢できる素晴らしい秋田を実現したいと思っております。環境を良くしようとする取組は、1人よりも2人が、少数よりも沢山の県民が肩を組むことにより、可能性が現実のものになると考えます。この後、我々の環がさらに拡がるよう、皆さんの御協力をお願いします、あいさつとさせていただきます。

幹事紹介

山本 久博

【所属】ワールドソーラーカーラー協会
【自己紹介】太陽光発電や省エネを主しいテーマとして取り組んでいます。
【フォーラムへの期待】秋田県の環境とエコの面で世界をリードする日が来ることを確信しています。

菅野 正幸

【所属】イオン(株)北日本カンパニー
秋田事業部副野店
【自己紹介】お趣味と同じ茨城から来て3年、すっかり秋田にもなりました。
【フォーラムへの期待】「地球にやさしいイオン」も環境を守り、夢のある未来への基礎づくりに貢献できればと思います。

柏谷 葉子

【所属】アキタグラフィカスクール
【自己紹介】寝たれた事はいやと見え無い、後で四苦八苦する。
【フォーラムへの期待】エコアイデアいっぱい、誰でも興味を持って参加できるフォーラム。

平塚 つとむ

【所属】NPO法人NPO事業化支援研修センター
【自己紹介】昔は環境活動系の市民団体の組織運営を支援しています。
【フォーラムへの期待】市民団体のネットワークの拡大を目標としています。

小西 和博

【所属】(株)新栄
【自己紹介】環境審査員(A5866)広告・イベント・企画を通じて環境活動に取り組みたい
【フォーラムへの期待】秋田県における環境活動のネットワークの増強として積極的にツヴァイアミックな活動(将来的にNPO)を期待

那須チカ子

【所属】あきた環境カウンセラー協議会
【自己紹介】ゴミと寄り添い汁数年、芥の味を聞いている、パソコン特攻隊。
【フォーラムへの期待】あらゆる主体が思い、互いに認め合ふ。循環する新しいコミュニティが生まれ、環境問題への大はきく広がる。

仁田原 豊

【所属】大滝村環境創造21委員会
【自己紹介】大滝村の自然環境創造につながる活動を活性化す取組より参加。
【フォーラムへの期待】2 世紀は環境の世紀。夢を持って、できる事から始めていきたい。

吉田 安孝

【所属】(社)秋田県緑化推進委員会
【自己紹介】年々広く若い友達と登山歩きをしております。自然志向です。
【フォーラムへの期待】良好な秋田の環境を維持していくための推進役として、継続した活動を期待します。

高橋 謙司

【所属】東北緑化環境保全(株)秋田支店
【自己紹介】休職中27、減量に挑戦中
【フォーラムへの期待】フォーラムの活動が期待に対する新たな行動を生み、育て、守っていく役割になりたい。

小野寺 和彦

【所属】ユニオンジョーカーシーステアリングシステム(株)秋田支店
【自己紹介】省エネルギー・公害防止が専門分野です。よろしくお願ひします。
【フォーラムへの期待】世界に誇れる自然環境と県民総意の環境保全システムの構築を目標とします。

塚本 恵美子

【所属】近代生活消費者の会
【自己紹介】責任感、正義感強い、世話好き、人を信じて失敗する。
【フォーラムへの期待】小さな輪が広がることを期待します。

佐藤 與四郎

【所属】秋田県森の育内人協議会
【自己紹介】多くの人が森林に親しみ、森林環境保全機能などを生かしている
【フォーラムへの期待】豊かで豊かな生活は、環境を損失した。従来からの自然環境と文化興隆を学び、自然と共存の社会環境保全の支援活動を進められたい。

藤原 儀弘

【所属】アキタエンジニアリング(有)
【自己紹介】エコ・エコ(環境・経済)で元気の秋田。美しい秋田の未来に生態的に貢献します。
【フォーラムへの期待】秋田県のイメージアップとレベルアップに期待を致しております。PR不足があります。県民の参加に期待します。

木川 弘

【所属】秋田市クリーンアップ作戦を進める会
【自己紹介】退職後もまだクリーンな環境作りには生きがいを抱いている男です。
【フォーラムへの期待】この組織はこれまでに無くも変革したいので入会した以上共に見舞うよう頑張りたいと思います。

決定事項の報告

平成14年度予算について報告

幹事会議事録

平成14年度第1回環境あきた県民フォーラム幹事会概要

と き：平成14年5月29日（水）午前10時～

と ころ：秋田地方総合庁舎第2会議室

平成14年5月29日に第1回幹事会を開催し、以下について議論され、承認、決定されました。

平成14年度事業計画

フォーラム運営

幹事会を組織し、幹事会が当フォーラムの中心的役割を担う。

幹事会の情報は、ニュースレターやホームページ上で会員各位に配信する。

当フォーラムの運営事務については、県とNPO事業化支援研修センターが協力して実施していく。事務局は環境政策課に設置し、会費・会員の入退会の管理や各種会議に関する事務を行っていく。

環境情報の発信

ニュースレターは会員各位に年4回郵送する。

ホームページについては運用や改修の他、会員のホームページとリンクによるネットワークの構築に努める

平成14年度予算

収入

区 分	予算額(千円)	備 考
会 費	1,000	平成14年5月24日現在加入申込状況 企業・業界団体...58件/会費額690千円 その他の団体、個人236件/会費額263千円
寄付金	500	平成14年5月24日現在実行委員会 1口395千円
合 計	1,500	

支出

区 分	予算額(千円)	備 考
ニュースレター郵送費	160	事業費としてニュースレター印刷費
シンポルト制作委託	150	イベントの告知用ポスター等に使用
キャッチコピー買戻代	110	新聞に広告掲載、郵便物160千円内、使用費240千円内 の区分
フェスティバル関係	300	あきたエコ&リサイクルフェスティバルにおいて、フォーラム の開催に必要経費として発生
予備費	780	フォーラム開催に必要とする経費に備えるため、全体の2割程度 を予備費として別に実施することとしたものの発生に必要とする 事、発生に備えるため
合 計	1,500	

あきたエコ&リサイクルフェスティバル実施要領(案)

目 的

節減工夫や実践によってさらなる環境保全の可能性を追求する様々な主体が一層に集い、大人と子どもが一緒に楽しめる雰囲気の中でその取組を紹介し合うことなどを通じて、県民の「環境あきた」の実現に向けた行動への参加意欲の喚起を図る。

実施日 平成14年9月7日(土)～8日(日)

実施場所

秋田駅前アプラ広場、大塚原広場、日赤跡地、緑人会館跡地

実施団体等

(1)主催

環境あきた実行委員会(フォーラム)と秋田県民の二者で「あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会」を組織し、なお、この構成を以て県内各団体等に対してフォーラム及び実行委員会の参加を促すものとする。

・実行等では、イベントの企画、運営等を中心的に担う企画委員会を平成14年度に設置し、実行することとし、当該委員会とは実行委員会に諮り、議論をリードするものとする。

(2)後援：報道機関、官公庁等

(3)協賛：企業、団体等

企画等

(1)テーマ

二つの成長、リサイクル、グリーンアップ等

あきたエコ、あきたリサイクル

参加：イベント企画例

参加企業・団体等の紹介冊子の作成、配布(イベント参加の企業や団体の環境活動等のPR冊子を作成し、希望者に配布。内容は環境企業等の紹介による。
環境あきたキャラバン隊の結成、市内の各地域で行われる環境イベントに関してフォーラムの「標準」を参考につくることを目的とし、キャラバン隊を組織し、出張式を行う。
環境大賞交付(環境に先進した取組を行う市内の企業、団体等に表彰贈呈する。
環境絵巻・写真展(市内の小中学校や一般市民に、本展の意や環境を象徴する写真や写真を、それに対する思いや共に創製し、展示する。

フリーマーケット/フリーマーケット参加者を募集し、実施する。

リサイクルワーク教室/子供たちの春の企画として実施。指導者等確保済み。

ゼロバック実演製作/牛乳パックのリサイクルを体験する企画として実施。

青年団体の募集や使用済み缶の回収コーナー(環境美化により関係に関する県内小団体の実演等を実施しつつ、

上記の取組を通じて地球環境問題に係る関心等を醸成してもらう。

エコ生活・実践事例/市民の生活体験に基づく「環境のよい」取組を募集し、冊子として配布

エコアクション/「環境」や「環境」による作例や、残り物を用いたエコの出し入れや作る教室を開催する。

花のプレゼント/児童等が花の種を配り、家庭の美化を通じて美しい街づくりに貢献してもらう。(県民中央公園に予約済み)

マイバスタット等のプレゼント/多くのユーザーの思い強さを促し、春の丸紙入の中間を贈るマイバスタットなどを希望者各名にプレゼントする。

会員のご紹介

あ 会員名 口数

秋田ISOサポートセンター1
秋田3ミツ(株)1
秋田リコ(株)1
秋田環境測定センター(株)1
秋田協同印刷(株)1
秋田環境整備事業協同組合1
秋田県自転車競技自動車業協同組合1
秋田県木工会議所連合会1
秋田県木材産業協同組合連合会1
秋田電力発電研究会1
(株)秋田ココロ1
(社)秋田トラック協会3
(社)秋田農バス協会1
(財)秋田市環境保全公社1
あきた「地球村」1
あきた環境カウンセラー協議会1
秋田環境問題研究会1
秋田県消費者協会1
秋田県生活学校連絡協議会1
秋田県産の郷内人協議会2
秋田市クリーンアップ作戦をすすめる会1
アキラプライブススクール1
旭川清況友の会1
(株)あすの秋田を創る協会1
(有)梓環境調査研究所1
新電化工業(株)1
(株)新島興産1
井川町緑町内会1
イオン(株)北日本カンパニー1
秋田事業部田野野店1
(株)伊達秋田地区営業課1
(株)エポックコミュニケーションズ2
エヌエス環境(株)秋田支店1
NPO事業化支援研修センター1
大湯町環境部第21委員会1
(株)男爵テクノ1
大館地区衛生組連絡協議会1
大曲市生涯学習自然環境の会1
雄勝セラミックス(株)3
雄勝商業協同組合1

さ

三秋光苑1
(株)自然科学調査事務所3
桑田工事業調査(株)1
(株)スズキ部品秋田1
(株)誠文社1
千歳町生活再興再興回収促進協議会1

た

(株)東運1
(株)東北エコシステムズ1
東北電力(株)1
東北緑化環境保全(株)秋田支社1
興和クリンテックス(株)1
十和田オーディオ(株)1

な

南都測量(株)1
ニプロ(株)大館工場1
新代市消費者の会1

は

(株)間組 秋田営業所1
花岡鉱業(株)1
(株)那戻5
(株)ビッグ1
比内町連合婦人会1
東日本電信電話(株)秋田支店1
(株)環境技術コンサルタント秋田営業所1
ボーイスカウト秋田第33団1
北荘市石沢小学校1

ま

マックスパリュ東北(株)1
(株)緑設計1
(有)MODE STUDIO Q1
島上測量設計(株)1

や

八重樫建設(株)サンシャイン事業部1
(株)山二1
(株)友愛ビルサービス1
ユニオンジェネシー1
スエアリングシステム(株)秋田工場1
横手平楽地区衛生組連絡協議会3

わ

ワド・ソナ・ネリ・招集委員会1
----------------	--------

か

(株)片岡工業1
(株)専風1
鹿角地区衛生組連絡協議会1
(株)共電秋田1
(株)共和技研1
本を届くる人びとの会1
グリーンホテル大曲1
(株)国際電気エンジニアリング1
小坂町自治会推進連絡協議会1
子吉川市民会議1

事業者の皆様へ

「県公害防止設備資金融資制度」が4月から次のように改められました。本年1月から既存の債却枠に適用されるダイオキシンの基準に関する対策など、公害防止に広く御活用ください。

融資限度額：1事業場あたり1億円
 融資利率：年1.85%
 償還方法：2年償還8年以内の割賦償還
 担保・保証人：
 保証料：1人以上、担保の請求が必要による保証料：年0.0%（県信用保証協会）
 指定金融機関：秋田銀行、北都銀行

・詳しいことは、県のホームページ「美の国秋田ネット」に載っています。
 ・あきたの環境（環境政策課）をご覧ください。
 ・お問合せ、申請の御相談は環境政策課
 018-860-1801
 又は最寄りの県健康福祉センター（保健所）環境指導課までどうぞ。

(財)あきた産業振興機構よりのお知らせ

お問合せは018-860-5624

国際規格ISO14001や9000シリーズの認証取得を応援しています。認証取得のためのセミナーを秋田で受講できるほか、安い費用でコンサルタントの実地指導が受けられます。

環境管理・監査制度対応講習会
 自動車リサイクル法・
 フロン回収破壊法対応講習会
 業では、業内の企業を支援するため様々な補助金・融資制度を設けています。

今後も環境保全に関わる制度を順次紹介していきますが、お急ぎの方は
産業振興プラザ
 インフォメーションコーナー
 秋田市山王三丁目1-1 県庁第2庁舎内
 018-860-5522
 に御相談ください。

環境法解説

建設リサイクル法

建設物等について 分別解体及び再資源化が 義務づけられます

一定規模以上の建築物や土木工物の解体工事、新築工事等（これらを対象建設工事といえます）については、一定の解体基準に従って、その建築物等に使用されているコンクリート（プレキャスト鉄筋コンクリート等を含む）、アスファルト、木材（これら特定建設資材といえます）を現場で分別することが義務付けられます。

分別解体することによって生じたコンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材（これら特定建設資材が廃棄物と見なされます）について、「再資源化が義務付けられます（木材については再資源化が困難な場合は不適宜な処分が義務付けられます）」

1) 対象建設工事
特定建設資材を用いた建築物等の解体工事及び特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が一定基準以上のものを、なお、都道府県の条例により、対象建設工事の規模を引き下げ、より小さな建築物等を対象とする場合があります。

2) 特定建設資材
省令（平成17年政令第495号）により指定された建設資材は次の通りです。
1) コンクリート、2) コンクリート及び鉄から成る建設資材、3) 木材、4) アスファルト・コンクリート。

3) 分別解体等実施義務
対象建設工事実施前、元請・下請全てに、分別解体等が義務付けられます。分別解体等、建築物等に用いられた特定建設資材に係る廃棄物をその種類ごとに分別しつつ、計画的に解体工事を実施するものです。
4) 対象建設工事受注者
（元請・下請全て）に、分別解体等によって生じた特定建設資材廃棄物の再資源化を義務付けられます。なお、木材については、一定距離内に再資源化施設がない等、再資源化が困難な場合には、適正な施設による焼却などが義務付けられます。

工事の発注者や元請業者等は、 次のことを行う必要があります

適正な分別解体等及び再資源化の実施を確保するため、発注者による工事の事前届出や元請業者から発注者への事前届出等、現場における標榜の掲出などが義務付けられます。

発注者への適正なコストの支払いを確保するため、発注者への契約条件が整備されます。

1) 元請業者から発注者への届出
対象建設工事の実施前、発注者に対し、建築物等の構造、工事着手時期、分別解体等の計画等について書面を交付し説明します。

2) 発注者から都道府県知事への工事の届出
対象建設工事の着手7日前までに、分別解体等の計画等について、都道府県知事に届出します。

3) 元請業者から下請業者への届出
元請業者は、下請業者に対し、事前届出知事への届出事項を告知します。

4) 解体費用への解体工事業者等の保証
対象建設工事の発注者においては、分別解体等の方法、解体工事に関する発注者の保証が必須です。

5) 標榜の掲出
元請業者等は、解体工事の現場ごとに、公衆の見やすい場所に標榜を掲出します。

6) 元請業者から発注者への事後報告

元請業者は、再資源化が完了したときは、その旨を発注者に書面でお知らせするとともに、再資源化等の実施状況に関する記録を作成、保存します。

建築物の解体工事の実施には 建設業許可が 解体工事登録が必要で

登録は、工事を行う都道府県ごとに行ってください。その際、次の事項を記載する必要があります。
1) 不備事項に該当しないこと（2年内に登録を取り消された者でない等）
2) 技術管理者を適任していること
技術管理者は、特定の業務経験が資格を有していなければならない。

これからの分別解体の 標準的な方法はこうなります

1) 調査の実施

対象となる建築物等、その周辺状況、生活廃棄物等の積置状況等の調査を行います。

2) 工事計画の策定

次の事項を内容とする工事計画を策定します。
イ) 対象物件における建設資材の位置及び量の見込み
ロ) 工事の作業手順
ハ) 作業手順毎の手段
ニ) 作業手順毎に発生する特定建設資材廃棄物の種類

ホ) 特定建設資材廃棄物に関し、これが発生する工程が明記された工程表
ヘ) その他工事の進捗にあたり必要となる事項

3) 事前準備の実施

工事の実施の前に、作業場所の確保等を行います。また、生活廃棄物等、特に資源リサイクル法の対象物について、発注者が適正な処理等を行ったことが確認します。

4) 工事の実施

計画に基づいて解体工事を実施します。
工事の作業手段は、技術上、安全確保上等の条件を踏まえ、必要に応じて作業方法、作業機及び機械作業の併用による手段を採用して解体を行います。

廃棄物の適正処理・リサイクル

建設リサイクル法の施行（5月3日）

8) 建物の解体、500㎡を超える新築・増築など、一定規模以上の工事については、コンクリートやアスファルト、木材などの特定建設資材を基準に従って工事現場で分別し、再資源化することが義務づけられました。工事の発注者は必要に応じて届出が必要です。

詳しくは「英の国林出ネット」の「各種情報ページ 建設リサイクル」をご覧ください。ただ、環境法解説（018-860-2425）は必要以上の解説記事が掲載済みです。

新資源物処理計画の策定（5月1日）

本市のみならず行政の協力的な方針に基づき策定されました。2) 年度を単位として、一般廃棄物と産業廃棄物の発生量、リサイクル率、最終処分（埋立）量の目標を明確に定めます。一般家庭については、現在の一人一日当たりの排出量690gを100g減らすことなどを目標とします。ごみを減らすことは、地球温暖化を防止とすることを環境問題の解決の第一歩です。地球温暖化を防止する、目標の達成を目指しましょう。詳しくは環境政策課環境調査・企画班（018-860-1597）まで。

環境に関する法律制定などの主な動き

<地球温暖化防止>

地球温暖化対策推進大綱の政府決定（3月1日）
地球温暖化対策推進法の改正（5月3日）
京都議定書批准の国会承認

（5月3日 閣議決定は6月4日）

地球温暖化の削減に向けて日本が京都議定書を批准しました。これは、二酸化炭素やフロンなどの温室効果ガスの2008年から2012年までの平均削減量を1990年比で6%削減することについての世界への約束です。地球温暖化対策推進大綱は、その約束を果たすために具体的に何をすべきかを体系的に提供に示したもので、私たちの日常生活についても具体的なメニューを例示しながら環境に優しいライフスタイルへの転換を求めています。また、こうした取組を確実に進めていくため、平成17年に制定された地球温暖化対策推進法も改正されました。これらの内容については、次でもう少し詳しく紹介しますが、いづれにしても、現代を生きる私たち一人ひとりが、節電や節水など、エネルギーを大切にすることを心がけることは、地球温暖化を防止し、将来の心づく健康な生活ができる環境をプレゼントする上でとても大切なことです。

大綱や推進法などに関するお問合わせは
環境政策課大気班（018-860-1604）まで。

<新エネルギー>

新エネルギー-特別措置法の制定（5月3日）

地球温暖化防止のため、風力などの新エネルギーによる電力の基準利用を電気事業者ごとに設定し、利用を義務付けることなどを定めた法律です。新エネルギーの対象には、風力、太陽光、地熱、水力、バイオマスとの5種類が指定されています。施行は今年4月1日となっています。
詳しくは環境政策課新エネルギー調整、エネルギー班（018-860-2281）まで。

<土壌汚染対策>

土壌汚染対策法の公布（5月8日）

有害物質による土壌の汚染から人の健康を守ることを目的とした法律です。有害物質を使用する特定の工場が使用禁止となった場合、土地所有者等が汚染の有無などを調査すべきことを義務づけ、その結果によっては知事がその土地所有者等に対して汚染の除去措置を命ずることができることなどが規定されています。施行は公布の日から9ヶ月を超えない期間内で政令で定められる日です。詳しくは環境政策課化学物質班（018-860-1606）まで。

環境配慮商品紹介

太陽光発電システム

八重樫建設株式会社 サンシャイン事業部
 秋田市泉南2丁目1-10
 018-863-3838
<http://www.yaegashi.co.jp/>

地球環境を守る太陽光システム

創業以来「土・緑・水・太陽」をテーマとし、2世紀の会社のあり方を「社会的ニーズとしていかに環境と文化に優しく、また貢献できるか」と位置づける八重樫建設株式会社(本社:鹿角市)。
 平成14年1月にISO9002を取得した同社が、翌平成15年より取り組んだのが「太陽光発電システム」。
 エネルギーの大量消費のものと豊かになった現在の社会は、その代償として地球温暖化や酸性雨などの環境問題を引き起こすとともに、エネルギー資源の枯渇が懸念されている。クリーンで枯渇することのない太陽光を利用した発電システムは、その解決法として世界各国が注目する新エネルギーである。

同社ではサンシャイン事業部(秋田市泉)を立ち上げ、このシステムを組み込んだ住宅・社屋・工場建設推進にあつている。

同社がすすめる太陽光発電システムは、屋根の有効スペースに太陽光電池モジュールを取り付け、

太陽光を電気に変換し、パワーコンディショナで直流電流を交流電流に変えて家庭内で利用するもの、これに電力会社に売却する余剰電力を計算する<充電用>と交流する電力を計算する<発電用>の2種類の電力計が取り付けられる。

夜間や雨の日の足りない電力のみ購入し、逆に発電して余った電力は電力会社に売却するというシステムだ。これにより、住宅で灯油720リットル(森林換算270坪)、産業用ではCO2削減量年6.5トン(1.8ヘクタールの森林と同等)達成。環境に優しいだけでなく、導入世帯に電力代コストの削減をもたらしている。

導入に当たっては1Kwあたり1万円が国より補助される他、住宅金融公庫の借り換え融資の対象ともなる。

同システム導入の目に見えないメリットに「環境に対する意識の醸成」がある。

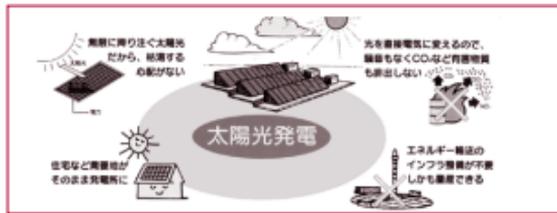
実際に導入した世帯のアンケートにある「毎月メータを見るのが楽しみ」「少しでも節電しようと



同システムを導入して建設された
 千歳町学校給食センター

する意識が出てきた」「いくらでも環境保護に貢献できていく満足感がある」という声が聞かせたい。

この意識を広めようと、自治体として導入したのが千歳町の学校給食センター。環境対策には個々の共済意識の醸成が必要だが、前述だけでは実感が湧かないのも事実である。毎日食べられる給食がお日様の光を利用して出来ているという身近な事柄が、将来を担う子供達に「環境・エネルギーへの関心」を持つ契機に繋がる。その果たす役割に注目したいところである。



はじめまして、サンシャイン事業部です。環境NGO地球村に所属し、様々なボランティアを通じて地球を優しくするお手伝いをし、市立大学講座に学び、省はマイブームです。まずは自分の意識のレベルアップが環境対策のテーマです。よろしくお話ししたいです。

八重樫建設(株)
 サンシャイン事業部
 八重樫のり子

夏休み環境活動メニュー

主催	電話番号	月日	タイトル	募集対象
秋田環境センター	018-860-4013	夏休み期間中	夏休み環境学習	小中学生
農産研修センター	0185-45-3111	8月1日	子供自然体験研修	小学生
大船少年自然の家	0186-43-3174	8/3-8/9	合同開催：ふるさと秋田を満喫！花まる探検隊	小学校高学年-中学生
保高羽山少年自然の家	0182-26-6011	8/3-8/9	合同開催：ふるさと秋田を満喫！花まる探検隊	小学校高学年-中学生
		7/29-7/31	ポウチアスタップセミナー	中学生-
		7/30-8/2	アドベンチャーキャンプ	小学4-中3
岩城少年自然の家	0184-74-2011	8/3-8/9	合同開催：ふるさと秋田を満喫！花まる探検隊	小学校高学年-中学生
秋田県立子ども博物館	018-865-1161	通年	地球環境関連展示(第一展示室)	子供
		通年	科学のなんでも研究室(環境破壊)、図書貸出し	
秋田市総合環境センター	018-839-4816	7月3日	夏休み親子環境教室	
秋田市教育研究所	018-865-2530	8月7日	環境教育研修会	
秋田市環境保全課	018-866-2075	8月2日	秋田市こどもエコクラブ交流会	エコクラブ会員
秋田市リサイクルプラザ	018-829-3568	8月上旬	親子でリサイクルしよう	親子単位

環境配慮商品紹介

エコクリーン車検

三井住友海上火災保険・秋田支店
秋田市山王2-1-43
018-865-0561



エコクリーン秋田シンボルマーク

環境対応の自動車整備 エコ車検

エコクリーン秋田は三井住友海上火災保険秋田支店が事務局となり、環境汚染防止に配慮した整備を推進しようとして平成17年に県内の自動車整備業者を集まり組織、自動車車検にエンジン洗浄工程などを組み入れた「エコクリーン車検（以下エコ車検）」を展開している。

97年の地球温暖化防止京都議定書以降二酸化炭素など温室効果ガス排出問題をきっかけにした、自動車業界の環境問題取り組みを受け積極的に展開しているエコ車検は、

エンジン燃焼システムクリーニングシステム
振動・騒音防止
オイル系統浄化

など項目は多岐に及び、排ガス改善・省エネルギー・燃費改善によるランニングコスト低減で、車検による環境保全を進める。

中心となるエンジン燃焼システムクリーニングシステムは、エンジン内部に蓄積したカーボンやワニスなど排ガス汚染の原因となる物質を専用の機械を用いてエンジン内で燃焼させるもので、所用時間は2分。

これにより、
燃費の向上

燃費の向上（ディーゼル車1-1.5%、ガソリン車5-8%）

出力アップ・レスポンス向上
始動性の向上

を果す。

エコクリーン秋田代表で、ASKnet（全国自動車整備自動車環境団体）加盟の佐藤自動車整備工場 佐藤7男社長は「少々お金はかかるが、エンジンをキレイにすれば燃費も改善する。エコ車検

を展開していくことは、ユーザー環境保護の重要性を訴え、環境保全意識を高めるPR機能と同じ事です。より多くの利用者の理解を得たい」と話している。（秋田市南興美1-5-16-1018-833-2445）

アイドリングストップ推進、ディーゼルエンジン車規制など、ユーザーの取り組みが環境問題に直結する自動車業界。

エコクリーン秋田は、ユーザーへの環境配慮視察の窓口として、いわば、車の積極的な役割を果たしていることも見逃せない。



環境ISO 14001セミナー

NECファクトリーエンジニアリングでは、秋田市において環境ISOセミナーを開催する。セミナーではNECファクトリーエンジニアリングが採用した効果的なISO14001のシステム構築を紹介される。

【開催内容】

- ISO認証審査、認証審査のポイント紹介
講師 / (財)日本品質保証機構 (JQA)
13:00-14:10
- ISO 14001とは、「何故今、ISO14001なのか」
- 審査のポイント
- ISO 認証取得するには何をなすべきか
環境管理システム構築の電子化
14:10-15:10
- *多数拠点を包含したシステム構築、効果的
- 認証維持費用の削減
- システム維持工数、維持経費の削減

- 情報の共有と有効活用、情報開示の迅速化
Q&A 16:10-16:30
- 【開催日時】
平成17年7月1日(金)13:00-16:30
- 【会場】秋田県生涯学習センター 第一研修室
秋田市山王中島町1-1
018-866-1171
- 【講師】ISOコンサルタント 徳吉勝樹
(NECファクトリーエンジニアリングマネージャー、
CEAR認定主任審査員)
財団法人日本品質保証機構
【標準定員】4名 【受講料】無料
【お問い合わせ】NECファクトリーエンジニアリングISO
支店 担当/横山・山田
03-5232-6260

法改正対応ダイジェスト

- 一ヶ月間に制定・改正された環境法を、対策ポイントを押さえてお知らせします。
(eメールまたは郵送でご連絡)
- 日々改正される環境法の見落としを防ぎます。
- 環境法を調べる手間、工数を減らせます。
- 環境法改正による対応策がつかえます。
- ご利用料 48,000円/年
詳細は、以下URLをご参照下さい
<http://www.nefe.co.jp/consult/law/index.html>
ご希望の方に法改正ダイジェストの最新号を送付
お問い合せは
NECファクトリーエンジニアリングISO支店
TEL 03-5232-6260
担当/永瀬・山田
eメール ISO@star.nefe.nec.co.jp

INFORMATION

市町村環境イベント予定(平成14年7月～9月)

市町村名	日時	環境イベント
田沢湖町	春、秋	全町一斉クリーンアップ
東由利町	8月4日	全域で道路清掃
矢島町	6～7月予定	(清掃センター)ゴミ処理施設見学会
西目町	8月	夏の全町一斉クリーンアップ運動
湯沢市	9月8日	第30回岡中井沢川クリーンアップ作戦
本荘市	8月4日	花火大会翌日クリーンアップ
上小阿仁村	9月1日	第22回クリーンふるさとデー

【田沢湖町】<http://www.hana.or.jp/tazawako/>【島崎町】<http://www.chokai.ne.jp/higashiyuri/>
【矢島町】<http://www.town.yashima.akita.jp/>【西目町】<http://www.nishime.akita.jp/>
【湯沢市】<http://www.yutopia.or.jp/yuzawas/>【本荘市】<http://www.city.honjo.akita.jp/>
【上小阿仁村】<http://www.kumagera.ne.jp/kamikko/>

あなたも森林づくりボランティアに参加してみませんか?

森林は、空気を清く、水を蓄えるなど、私達の生活に欠かすことのない様々な働きをしております。このかけがえのない森林を守り育てるためには、たくわんの手入れが必要です。そこで(社)秋田県緑化推進委員会では「森林づくりボランティア」を募集・登録しております。あなたも、ちょっときついが、おいしい空気に包まれた森で、さわやかな汗を流してみませんか?「あなたの健康のために」、そして「地球の健康のために」。

応募の資格

・個人登録: 満18歳以上(性別は問いません)
・団体登録: 学校・緑の少年団・スポーツ少年団・企業・自治会・同好会など(団体の構成は問いません)
・入会の方法

最寄りの農林事務所林務課もしくは市町村の農林担当課。又は、直接(社)秋田県緑化推進委員会にお申し込み下さい。

登録の特典

・ボランティア会員として登録し、「登録証」を交付。
・「森林ボランティア通信」等により、県やボランティア団体が行う「森林づくり活動」などの情報をお知らせいたします。また、各地域で実施される活動に参加できます。
・間伐や枝打ちなどの森林作業や、炭焼き、キノコづくりなどの体験講習会に参加し、森づくりに関する技術習得ができます。

注 意

・登録しても、「森林ボランティア」への参加・不参加は自由です。決してボランティアを強要するものではありません。詳細について知りたい方は、下記にお手紙下さい。

(社)秋田県緑化推進委員会 青田まで
TEL: 018-883-0815
FAX: 018-883-0816
秋田県林務局緑化課緑化課 金沢まで
TEL: 018-860-1916
FAX: 018-860-3828

今年も夢と希望を乗せた未来の車(ソーラーカー)が「太陽の村」に大集結。真夏の太陽の下、マラソンレースが繰り広げられます。2日ではタイムトライアルが開催されます。

開催場所 大崎村ソーラースポーツライン

開催日 7月2日(金)～7月4日(日)
8月2日(金)～8月4日(日)

なおワールド・ソーラーカー・ラリー実行委員会事務局では、当日コースマーカーや車検の補助などのボランティアを募集中。応募された方には、昼食(おにぎりとお茶)、Tシャツを提供されます。

WSR実行委員会事務局

TEL: 0185-45-3999 FAX: 0185-45-2162
URL: <http://www.ogata.or.jp/>

あなたも・ちょっこつ・ボランティア参加者募集

「秋田ふるさと美化推進チームは時々「ふるさと綺麗隊」に变身し、秋田県内各地に出動します。

時はいつでも3日持ち帰りキャンペーン。朝には高倉会クリーンアップ。あなたもやってみませんか? 秋田県スタッフ(ふるさと綺麗隊)と公募したボランティアスタッフが協同で、人の住る美しい観光地を対象エリアに、クリーンアップを行います。午前中はクリーンアップ、午後は施設見学や学習会を開催します。「ちょっこつ」参加してみませんか。

ふるさと綺麗隊の連絡先は
<http://www.pref.akita.jp/bika/taishimilit1>

でご覧いただけます。
日時 7月3日(火)10:00～13:00

集合場所 田沢湖町立土庫資料館駅前前(9:45集合)

実施内容 春山地区周辺クリーンアップ
森林とのふれあい学習会

お申し込み先 秋田ふるさと美化推進チーム

TEL: 018-860-1571

FAX: 018-860-1574

Eメール bika@pref.akita.jp

今後のクリーンアップ予定

8月2日 旧男鹿市道の崎崎海岸

9月1日 大館市大館市民の森

環境大賞受賞候補を募集

県内で、環境に優しい取組を実施し、市民の模範となる企業や団体、個人を表彰します。小中学校などの優れた取組も対象となります。募集、応募は即日起至。〆切は7月2日。詳しくは環境政策課環境企画課(018-860-1602)まで。

あきたエコ&リサイクルフェスティバルの出展者・フリーマーケット参加者募集!

一級の方のリサイクルをコンセプトにした、フリーマーケットを開催。
期間 環境政策課 TEL: 018-860-1602
〒010-8570 秋田県秋田市1-7-25 防災会館をご覧ください。

ご寄付

グリーンホテル大曲様(支配人 久米親治氏)より当フォーラムに95,000円の寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成14年大館市内にオープンした別ホテルは、「グリーン」という名前にもふさわしい環境にやさしい取組を、ホテル業の一環として実践しています。

グリーンホテル大曲

〒014-0013 大館市朝日町1-8-1

TEL: 0187-86-3333 FAX: 0187-86-3020

宿泊客への備前3分券、ゴミ分別の呼びかけ

別ホテルは宿泊客に備前3分券呼びかけ、使い捨てのものを室内になるべく配置しないようにして、持参した備前3分券の差額(5円)を地球環境基金に寄付してきました。

使用後の備前3分券、プラスチック原料としてリサイクルに活用しています。

他にも、県内でのゴミ分別の呼びかけなど、宿泊客にも環境にやさしい取組を呼びかけています。

春平、環境あきた県民フォーラムの設立を知り、「地元秋田の環境保全に使用してもらいたい」との願いから、募金で購入した金額95,000円を寄付したいとのお申し出があり、ありがたく頂戴いたしました。

この寄付金は環境あきた県民フォーラムの活動費に充当させていただきます。

(3月15日幹事会議議決の収入簿参照)。

発行 環境あきた県民フォーラム事務局

〒010-8570 秋田市山王4-1-1 秋田県環境政策課内

TEL: 018-860-1602 FAX: 018-860-3881

e-mail envplan@pref.akita.jp

ワールドソーラーカーラリー開催

募集

フォーラム事務局からのお願い!
このニュースレターは、今後も内容の充実を図っていきます。お手紙はどのようなお返しの御返事にも環境にやさしい環境をシリーズとして掲載したいと考えております。 前号の巻頭記事「環境あきた県民フォーラム」等...ぜひお返事までお寄せください。よろしくお願いいたします。